

GLOBAL TIMES VOL.12

平成30年度 能勢高校 SGH 研究発表会を開催しました

2月9日(土)、能勢町浄るりシアターにて『平成30年度SGH研究発表会』を開催しました。

この一年間、生徒達は課題研究テーマを決め、モンゴル、鳥取にて実態調査を実施し、調査結果を踏まえて課題探究を進めてきました。グローバルな課題解決をローカルな課題解決に活かし、それを能勢町の活性化への提案へとつなぐ、その集大成がこの研究発表会でした。

当日は多くの方々に来場いただき、成果を見ていただくことができました。今年はすべての発表において「いかにして能勢町を活性化させるか」について考え、提案を行いました。今後はこの課題探究における提案を能勢町で実現させるべく、SGH 活動を能勢町全体に広げていけるよう取り組んでいきます。ご来場いただいた地域の皆様、ご指導・助言をいただいた講師の皆様、ありがとうございました。

●課題探究発表テーマ●

①SGH 全国高校生フォーラム 課題研究発表《英語》

『Poverty and Street Children in Mongolia～Empowering Children by Education』

2年 大城 伊織、後 大成、齊藤 大晟

②豊中高等学校能勢分校1年 GS 課題探究重点講座 課題研究発表《日本語》

『シュタットベルケを成功させるために～一人ひとりが暮らしやすい能勢町作り～』

1年 大西 琉人、合田 周平、中植 航太

③3年 SG 重点分野講座 課題研究発表《英語・日本語》

『マレーシア留学から見た多様性について～ハラルを考える～』 3年 齊藤 依乃里

④2年 SG 重点分野講座 課題研究発表《日本語》

～グローバルな視点からの能勢町の地域課題解決について～

グループA『鳥取県からの地域創生の学び～能勢町の地域創生を考える～』

2年 石川 歩夢、小松 拓真、篠原 秀虎、ショア 愛央

グループB『モンゴル国 子どもの貧困と地域連携～日本とモンゴル国の現状～』

2年 田中 裕也、中岡 厚太

グループC『モンゴル国 ジェンダー平等～みんなで描く町づくり～』

2年 齊藤 大晟、辻 結衣名、中岡 優仁

グループD『モンゴル国 教育問題の取組み～能勢町が学ぶこと～』

2年 後 大成、大城 伊織、小倉 惇

⑤SGH 取組みの展示公開(会場ロビーにて)

●運営指導委員

伊井 直比呂氏(大阪府立大学)、大石 なつ美氏(一般財団法人 千里文化財団)

片寄 俊秀氏(NPO 法人 みつや交流亭)、平岡 光生氏(能勢町商工会)

平田 篤州氏(一般社団法人 檸檬新報舎)、瀧上 健一氏(大阪府教育センター 高等学校教育推進室)

●大阪府教育庁 松下 信之氏、山川 裕徳氏

●来賓 上島 一彦氏(大阪府議会議員)、原田 亮氏(大阪府議会議員) 上森 一成氏(能勢町長)

●中植 昭彦氏(能勢町議会議員)、加堂 恵二氏(能勢町教育長)

●町議会議員の皆さん



SGH を一年間受講して今思うこと…

●SG重点分野講座受講生徒 小松 拓真くん(2年生)

能勢高校に入る前は、SGHについて全く知りませんでしたし、海外にもあまり目を向けていませんでした。入学後、説明会で先輩方のプレゼンテーションを見て、海外との交流や英語力をUPできるかなと思い、受講を決めました。始まってみると、海外よりもむしろ自分の住んでいる能勢町の過疎化や日本の貧困など、国内の問題に目が向くようになりました。能勢町が消滅可能都市であることも知りませんでした。

鳥取県での実態調査では、鳥取といえば砂丘のイメージしかなかったのですが、鳥取にしかない見るべき多くのものがあり、どの場所でも地域創生に力を入れているのがとても印象的でした。

将来は大学の文学部で日本文化を勉強し、生まれ育った能勢町を盛り上げていくために何かできればと考えています。



鳥取県知事 平井伸治さんと



ゲルの前で。中央が後くん

●SG重点分野講座受講生徒 後 大成くん(2年生)

SGHは他校では体験できないし、人前で話すのが苦手な自分を克服するには良いチャンスだと思い、挑戦してみようと受講を決めました。

一番印象に残っているのは海外実態調査で訪れたモンゴルです。モンゴルは遊牧民と広い草原のある国だと思っていましたが、想像以上に大都会でした。

貧困問題はモンゴルだけではなく、日本でも問題となっています。将来は小学校の教員になり、子どものために少しでも良い学習環境を作れたらと思っています。

SGHを通して多くのことを学び、自分の中で新しいものの見方ができるようになりました。放課後や週末に講座や活動があり大変な一年間でしたが、自分の成長につながったと思います。

●講座と講師の方々●

●1年GS 課題探究重点講座

第6回 12/21(金) 『みやまスマートエネルギーとの懇談会』

●福岡の新電力会社”みやまパワーHD”、環境コンサル”E-konzal”、能勢町役場政策推進の方々

12月21日(金)午後、1年GS受講生徒6名が、福岡の新電力会社”みやまパワーHD”、環境コンサル”E-konzal”、能勢町役場政策推進の方々と、『再生可能エネルギーをどう能勢に活かすか』についての懇談会を行いました。再生可能エネルギーを能勢町で活かしていける未来を考える素晴らしい時間となりました。

第7・8・9回 『英語プレゼンテーション講座』

●ティモシー・カーン さん(関西学院大学 講師)

能勢中学校3年生・吉川中学校3年生と一緒に、英語でのコミュニケーション、プレゼンテーション力の育成講座を行いました。

●2年SG 重点分野講座

第38・39・40・41・42回 課題研究講座

『モンゴルの文化・歴史・社会～貧困とストリートチルドレン～』

●今岡 良子 さん(大阪大学言語文化研究科准教授)

引き続き、『モンゴル 貧困とストリートチルドレン～自立的な地域社会の構築と相互連携～』を大きなテーマに掲げ、研究発表会に向け、今岡先生から助言・指導を受けながら発表準備を進めてきました。

第36回 12/18(火) 『途上国からのブランド作りに学ぶⅡ』

●藤澤 憲人 さん(株式会社マザーハウス 神戸ミント店店長)

前回11月の講座の第2回目。藤澤さんは高校生の時、マザーハウス創始者の山口絵理子さんの活動に憧れ、この会社で働こうと思ったそうです。藤澤さんのお話の後、スカイプをつなぎバング



ラデシュにある自社工場の工場長マムンさんと話しました。「目標を明確に決める」「一度決めたらそのために努力をする」「そしてそれを続けていくこと」などのマムンさんの言葉が、強く心に残りました。

●1年GS基礎知識特別講座

2/4(火) 『研究発表会に向けたパフォーマンス指導』

●金城 あや さん(マナーインストラクター)

平成30年度SGH研究発表会に向けて、当日の司会進行やパフォーマンス練習のために、マナーインストラクターの金城あやさんに、大勢の観客に向けての声の出し方や、抑揚をつけて観客を惹きつける方法などを、実践を交えてご指導いただきました。直接プロの指導を受けたことで意識が変わり、本番に向けて気合いを入れることができました。

●2年SG基礎知識特別講座

全4回 『街角伝統文化“紙芝居”をマレーシアに伝える』

●安野 だんまる さん(ヤッサン一座 プロ紙芝居師)

1月のマレーシア修学旅行で訪れたアスンタ高校との交流会で、日本の街角文化である伝統的なスタイルの紙芝居を披露するため、ご指導いただきました。

●1～3年SG・GS特別講座

全4回 『ガムラン演奏』

●谷口 かな さん(豊能町ジャワガムラン演奏集団“マルガサリ”スタッフ)

SGH活動の一環として、マルガサリの皆さんに指導を受けながら、インドネシアの伝統音楽“ジャワガムラン”を練習しています。昨年11月には、浄るりシアターで行われた「能勢町文化フェスティバル」にて演奏を披露しました。



校外学習・国際交流

■全国高校生フォーラムに参加しました

12月15日(土)、東京の東京国際フォーラムにて行われた「全国高校生フォーラム」にて、2年SG受講生3名が参加し、『Poverty and Street Children in Mongolia ~Empowering Children by Education』について英語でポスターセッションを行いました。全国から集まったSGH高校生の発表も見ることができ、大いに刺激を受けました。



■町議会委員との懇談会

12月17日(月)、能勢町議会議員12人の皆さんと、1年GS受講生徒8名、2年SG受講生徒8名が能勢高校にて懇談会を行いました。中間発表会での発表を見ていただき、その後、議員の方を交えて能勢の活性化について意見交換をしました。

■第13回大阪府高等学校総合学科教育研究大会に参加しました

12月16日(日)、大阪府立今宮高等学校にて第13回大阪府高等学校総合学科教育研究大会が開催され、会場には大阪府下から20校が集まりました。本校は2年SG受講生徒5名が作品展示とポスターセッションで参加し、鳥取県でのSGH国内実態調査の発表を行いました。他校の研究内容に触れることのできた貴重な一日でした。



■地域創造サミット2018@三重県・鳥羽市に参加しました

12月26日(水)～27日(木)、三重県・鳥羽市で開催された「地域創造サミット2018」に、能勢分校1年生3名が参加しました。なお、能勢高校・能勢分校は昨年に引き続き、2年連続での参加となりました。このサミットでは、「鳥羽市をいかに活性化させるか」ということをテーマに、各班に分かれ、鳥羽市内でフィールドワークを行い、討議を重ね、最終的には鳥羽市長に提言を行いました。三重県内の高校生だけでなく、岡山県・愛媛県・広島県の高校生も参加しており、サミットを通じて各地域の課題を知り、能勢町の課題と比較して考える良い機会となりました。



■ビジネスプラングランプリ特別企画に参加しました

1月27日(日)、明星高等学校で行われた高校生ビジネスプラングランプリ「プランセッション2019」に、能勢分校1年生の3人が参加しました。惜しくも受賞を逃し

た生徒にも発表の機会を持ってもらおうという特別企画です。12チームの高校生の高いレベルの発表の後は、他の高校の生徒と組んで10分でビジネスプランを考えるグループワーク「駅ナカに新ビジネスを展開せよ」を行いました。他校生の多様な考えに触れ、たくさんの刺激を貰いました。

■SGH甲子園 2019@関西学院大学に参加しました

3月23日（土）、関西学院大学に全国からSGH指定校が集まり、研究成果を発表しました。本校は2年SG重点分野講座受講生徒3名が課題研究成果のポスターセッションを行いました。他校の発表にも触れることができた貴重な機会となりました。



2018～2019 年能勢高校・能勢分校へ来た留学生たち

今年度は、例年より多くの長期・短期留学生が能勢高・能勢分校生と一緒に学びました。能勢町の家庭でホームステイし、そこから登校しました。日本語ボランティアの方々にご協力いただき、日本語の学習にも取り組みました。学校内だけではなく、ささゆり学園などの校外では自分たちの国についてのプレゼンテーションや交流活動を積極的に行いました。異なる文化や価値観の違う国へ来た彼らの姿を通して、本校生徒のみならず小中学生や地域の方々も貴重な日々を過ごすことができました。来年度も長期・短期の留学生が来ることが決まっています。能勢高校・能勢分校の国際交流はこれからも続きます。



カオファン(タイ)

2018年4月～2月



イマン(マレーシア)

2018年6月



セリーナ(マレーシア)

2018年10月～11月



ミキ・マシュー(オーストラリア)

2018年11月～12月

2019 年度 SGH の取組み

2019 年度 SGH の課題探究テーマは、『マレーシア 経済発展と自然破壊～プランテーションと森林破壊～』です。大阪教育大学准教授 乾陽子氏の指導のもと、マレーシアの環境問題に焦点を当て、そこから日本の環境問題、そして能勢町での環境保全にもアプローチします。2年生で探究した課題とリンクさせることで、能勢の地域活性化に貢献します。また、校外活動にも積極的に参加し、後輩や学校外部への発信を行い、3年間の学びを実践につなげる機会とします。8月にはマレーシア サバ州コタキナバル市において、実態調査を行います。

豊中高校能勢分校 1、2 年生は、SGH 後継事業として SGH の流れを汲む講座を受講し、課題解決型学習を展開します。2019 年度の課題研究テーマは、3 年生のテーマに加え、『地方創生「能勢版シュタットベルケを考える」～再生可能エネルギーと地方創生～』についても研究します。3 年生と共に校外活動に参加し、発表会での発信も行います。また、スムーズスペース（遠隔ネットシステム）を利用し、豊中本校とも情報交換、交流をはかります。2 年生の海外実態調査は、3 つのグループに分かれて行います。3 年生が8月に行うマレーシアでの実態調査に同行するグループ、来年1月のマレーシア修学旅行に先立ってサラワク州クチン市へ赴き調査を行いその後クアラルンプールで本隊に合流するグループ、9月に能勢町が主催するドイツ ブリロン市における現地視察に同行するグループです。

今年度もグローバルな視点で能勢町にも目を向け、全力で課題探究に取り組んでいきます。